

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

中国市場の炭素材料関連製品の動向

(2025年2月)

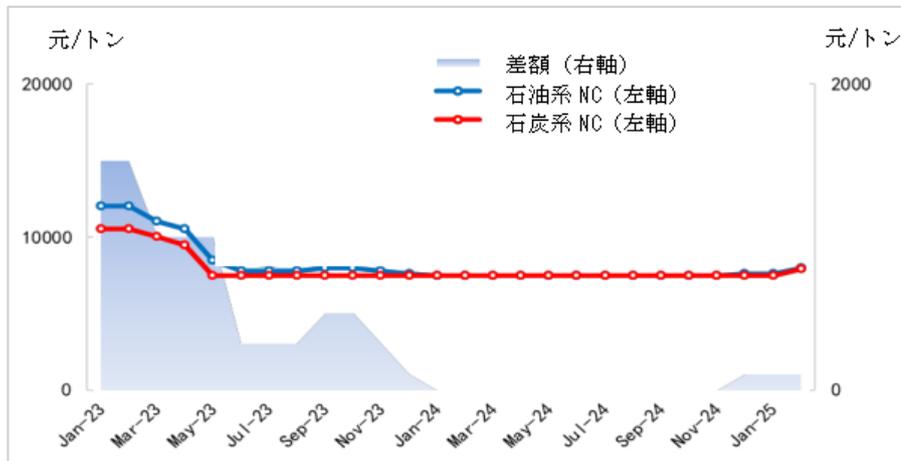
1. ニードルコークス

2025年2月、中国のニードルコークス（以下、「NC」）市場は好調が続いた。原料の価格上昇を受け、NC価格は明らかに上昇した。石油系NC企業は稼働率を上げると同時に、石炭系NC企業の宝武炭材（本社：上海市宝山区）、宝舜（河南）新炭材料（本社：河南省安陽市）、鞍山中特新材料（本社：遼寧省鞍山市）は運転再開を発表し、稼働していることとなった。

2月末には、NC価格が落ち着きを見せ始め、短期的には安定的に推移すると予想されている。2月28日現在のNC価格は下記の通りである。

- 中国国産 NC 価格（1元=20.55円で換算）

- 石炭系 NC は 7,500~8,500 元/トン（15.41~17.47 万円/トン）
- 石油系 NC は 7,500~9,000 元/トン（15.41~18.50 万円/トン）
- 石炭系、石油系生コークスは 6,000~7,000 元/トン（12.33~14.39 万円/トン）



出典：ICC 資訊

図 1. 石油系 NC と石炭系 NC の価格推移（2023年1月~2025年2月）

- 輸入 NC 価格（1ドル=147.33円で換算）

- 石炭系：

日本からの輸入 NC は 850 ドル/トン（12.52 万円/トン）

韓国からの輸入 NC は 800 ドル/トン（11.79 万円/トン）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

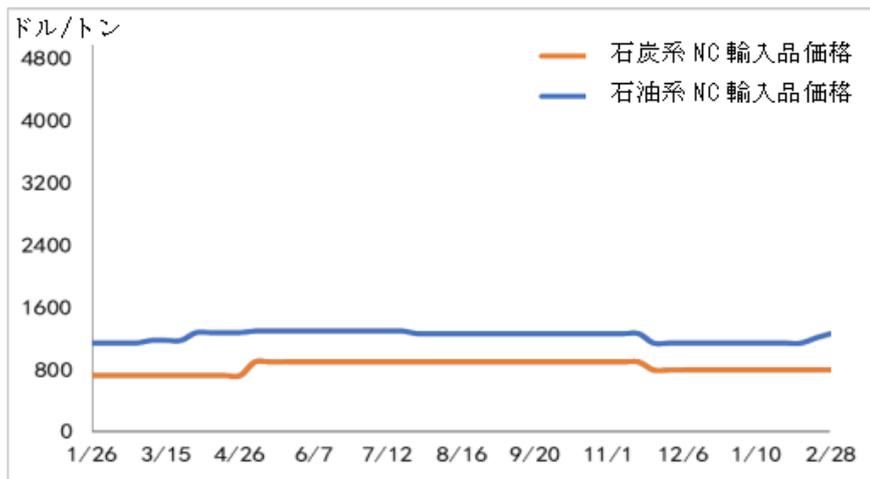
TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

➤ 石油系：

英国からは 1,050～1,250 ドル/トン (15.47～18.42 万円/トン)

日本からは 1,100～1,300 ドル/トン (16.21～19.15 万円/トン)

負極用コークスは 650～800 ドル/トン (9.58～11.79 万円/トン)



出典：ICC 資訊

図 2. NC 輸入品の価格推移 (2024 年 1 月～2025 年 2 月)

原料のコールタルの高値によって、石炭ピッチの価格が大幅に上昇した。また、企業の稼働率が低かったため、石炭ピッチの供給量が足りなかった。

2 月末現在、改質ピッチの価格は 4,600～4,700 元/トン (9.45～9.66 万円/トン) で、前月より 21.57% 上昇した。中温ピッチは 4,550～5,000 元/トン (9.35～10.28 万円/トン) で、同 24.48% 上昇した。原料の価格高騰は石炭系 NC 企業のコストを押し上げた。

2 月、低硫黄分オイルスラリーの需要が好調であったため、市場価格が上昇し続け、月末現在は 4,300～4,750 元/トン (8.84～9.76 万円/トン) となった。価格は今後も上昇傾向にあるため、石油系 NC 企業のコストアップが続くと予測されている。

2. 石油コークス

2024 年 12 月から、下流側の負極材料とプリバーク陽極による需要増加のため、低硫黄分石油コークスの価格が上昇し続けていた。2 月下旬ごろから、輸入品の増加や需要側の原料調達が次第に完了したため、低硫黄分石油コークスの価格が安定するものの、一部はやや低下した。2 月末現在の価格は表 1 に示している。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

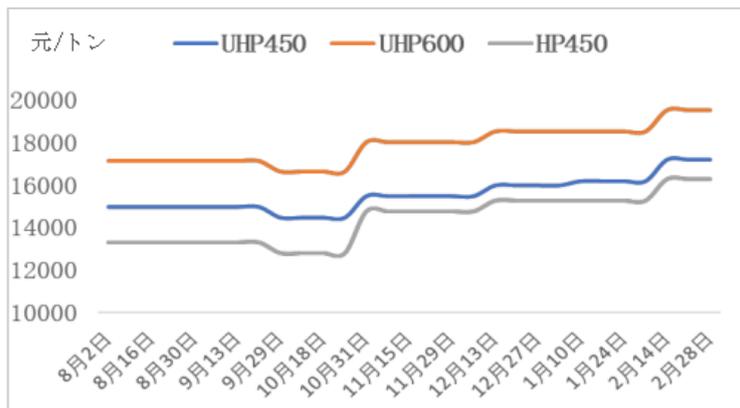
表 1. 低硫黄分石油コークスの価格

企業別	価格 (元/トン)		
	1月1日	2月27日	上昇幅
大港石化	3,200	5,650	2,450
大慶石化	3,330	5,830	2,500
撫順石化	3,500	6,000	2,500
錦西石化	3,240	5,700	2,460
錦州石化	3,260	5,700	2,440
惠州石化	3,200	5,500	2,300
安慶石化	3,710	5,970	2,260

低硫黄分煅焼コークスの価格は原料価格の上昇を受け、高騰したが、下流側企業は価格転嫁を受け入れないため、取引量は少なかった。

3. 黒鉛電極

春節（1/29）後、原料価格の急騰に伴い、黒鉛電極企業のコスト増加が続き、黒鉛電極の市場価格は大幅に上昇した。2月末現在、UHP400mm 規格黒鉛電極の価格は 17,200~17,700 元/トン（35.35~36.37 万円/トン）、UHP450mm 規格（NC 含有量が 30%）は 16,700~17,200 元/トン（34.32~35.35 万円/トン）、UHP600mm 規格は 19,000~19,500 元/トン（39.05~40.07 万円/トン）、UHP700mm 規格は 23,000~23,500 元/トン（47.27~48.29 万円/トン）だった。



出典：ICC 資訊

図 3. 製品別黒鉛電極の価格推移（2024年8月~2025年2月）

供給面では、原料の価格高騰による生産コストの高止まりが続くため、黒鉛電極企業の稼働率は低水準で推移し、特に生産を停止している企業の多くは、運転再開を遅らせた。需要面では、鉄鋼企業の生産状況が好転している。ICC 資訊によると、2月27日現在、全国 135 社の電炉を有

CMI 株式会社

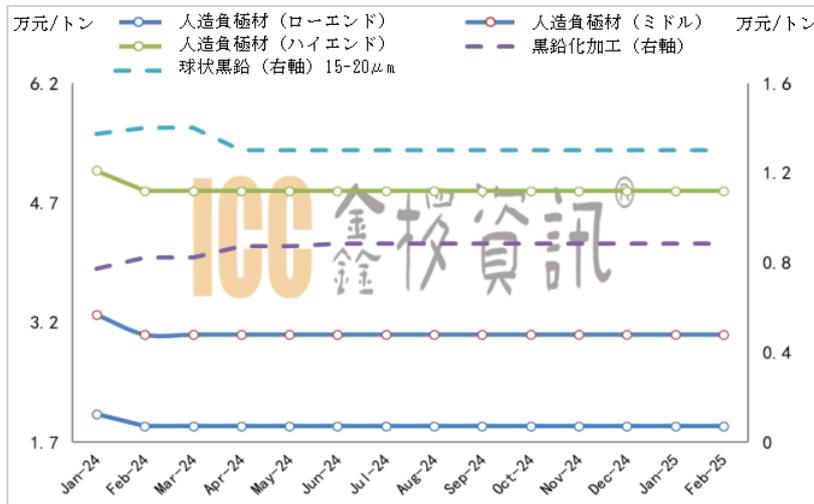
横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

する製鉄所の稼働率は 39.59%で、前週より 4.82%上昇した。電炉鋼の生産量は 1 日当たり 24.78 万トンで、3 週連続で増加した。黒鉛電極の消費量は 1 日当たり 976 トンで、前の週より 8.08% 成長した。

4. 負極材

2 月、原料価格の高騰が負極材料企業の経営に大きな困難をもたらした。企業の多くは赤字になり、一部は減産を余儀なくされた。3 月、電池市場の生産量は前月比 10~15%増加する見込みであり、負極材料価格は需要の増加によってある程度上昇することが期待されている。



出典：ICC 資訊

図 4. 負極材と黒鉛化加工の価格推移 (2024 年 1 月～2025 年 2 月)

炭素材料関連製品価格表 (2025 年 2 月 28 日)

製品	指標	税込価格 (1 トン当たり)	
		人民元 (万元) ・米ドル	日本円 (万円)
石油コークス	1#A	0.57~0.60	11.71~12.33
	1#B	0.57	11.71
煅焼コークス	低硫黄分	0.71	14.59
石炭ピッチ	改質ピッチ	0.46~0.47	9.45~9.66
	中温ピッチ	0.46~0.50	9.45~10.28
被覆ピッチ	軟化点 200	0.60~0.70	12.33~14.39

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

	軟化点 280	1.30~1.50	26.72~30.83
中国 NC	石炭系生コークス	0.63	12.95
	石炭系煨焼コークス	0.79	16.23
	石油系生コークス	0.65	13.36
	石油系煨焼コークス	0.80	16.44
海外 NC	石炭系 (日本)	800	11.79
	石炭系 (韓国)	850	12.52
	石油系 (日本)	1,300~1,400	19.15~20.63
	石油系 (英国)	1,100~1,300	16.21~19.15
黒鉛電極	UHP450mm	1.72~1.77	35.35~36.38
	UHP450mm (NC 含有量 30%)	1.67~1.72	34.32~35.35
	UHP550mm	1.80~1.85	36.99~38.02
	UHP600mm	1.78~1.83	36.58~37.61
	UHP650mm	1.90~1.95	39.05~40.07
	UHP700mm	2.05~2.10	42.13~43.16
黒鉛化加工	箱型炉	0.82~0.95	16.85~19.52
	アチソン炉	0.97~1.15	19.93~23.63
天然負極材	ローエンド	1.60~2.90	32.88~59.60
	ミドルレンジ	3.30~4.10	67.82~84.26
	ハイエンド	5.00~6.50	102.75~133.58
人造負極材	ローエンド	1.60~2.20	32.88~45.21
	ミドルレンジ	2.30~3.80	47.27~78.09
	ハイエンド	4.90~7.80	100.70~160.29
球状黒鉛	大球 (15~20 μ m)	1.20~1.40	24.66~28.77
	小球 (6 μ m)	1.75~1.95	35.96~40.07
天然黒鉛	黒竜江	0.27~0.30	5.55~6.17
	山東省	0.29~0.32	5.96~6.58

注 1 : 中国国内価格は税込み出荷価格で、単位 : 万元/トン、1 元=20.55 円で換算。

注 2 : 海外 NC 価格は CIF 価格で、単位 : ドル/トン、1 ドル=147.33 円で換算。

情報源 : ICC 資訊